

会 議 録

会議の名称	第1回 阪南市外部評価委員会
開催日時	平成29年6月1日(月) 午後6時30分～午後9時00分
開催場所	阪南市役所3階全員協議会室
出席者	<p>【委員】 壬生委員長、掛谷副委員長、奥野委員、高橋委員</p> <p>【事務局等職員】 森貞総務部長、橋口室長、高倉室長代理、太田総括主事、新垣主事</p>
会議の議題	1. 開会あいさつ 2. 市長から委員会への諮問 3. 外部評価実施要領について 4. 外部評価施策の選定 ・評価施策の概要説明 ・質問票について 5. その他
公開・非公開	全部公開
傍聴人数	0人

1. 開会あいさつ

事務局

出席者全員の着席並びに傍聴人の受付時間終了につき、委員全員の同意を得た上で、平成29年度第1回阪南市外部評価委員会を開催する。

委員総数4名に対し4名出席のため、阪南市外部評価委員会条例第5条第2項の規定により、会議が成立していることを報告する。

○水野市長あいさつ

委員の皆さまには、公私共にご多用のところ、本日の外部評価委員会にご出席をいただきまして、心より御礼申し上げます。

さて、本市では、平成24年3月に策定した阪南市総合計画に掲げる将来の都市像「ともにさかそう笑顔とお互いさまのまち 阪南」の実現に向け、前期基本計画、後期基本計画と分けて取り組んでいるところであるが先般、後期基本計画を策定したところ。

他市町村同様、本市でも高齢化、少子化問題が進んでおり、2014年の消滅自治体はぎりぎりぎり切り抜けたものの状況は逼迫している。

また、地方分権の流れが強く、府から移管された事務を受けて市は地域内分権に舵を切らなければならないようになってきており、地域においてしっかりとした住民主導における公民協働のまちづくりの仕組みを立てていかないといけないということで水野メソッド(方式)2017を作成した。市民は観客からプレーヤーへ、職員はプレーヤーからマネージャーにそれぞれ役割を移行しながら課題の解決へ向けて共創する力が求められている。メソッドを推進するにあたり、1つ目として地域のことは地域で支える住民自治を進め、2つ目に団塊世代が後期高齢者になる時代を見据え、高齢者の生活の質を高めながら健康寿命を延伸し、地域での元気で快適な暮らしを促進できるよう健康長寿社会の実現をめざす。3つ目として地域資源を活用した産業振興の推進を図っていくよう取り組んでいく。

外部評価委員会では28年度の施策評価をしていただき29年度の施策、今後の在り方についてアドバイスいただきたい。阪南市の為に力添えを賜りますよう、心からお願いを申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

○事務局より市長及び事務局の紹介

市長及び事務局の紹介として水野市長、森貞総務部長、みらい戦略室として、橋口室長、高倉室長代理、太田総括主事、新垣主事。

○事務局より資料の確認

各委員に資料の不足がないことを確認。

2. 市長から委員会への諮問

○水野市長より壬生委員長へ諮問書の提出（諮問後市長退出）

事務局

議事進行ついて、条例第5条の規定により、委員長にお願いします。

3. 外部評価実施要領について

事務局

資料1に基づき説明をする。

阪南市外部評価実施要領（案）について、実施要領の一部見直しをしている。委員会の公開については、昨年度と同様に原則公開とし、評価に係る協議は非公開とする。会議録については、原則公開とする。

シートの見直しに伴い、「第6 外部評価の視点」（2）については、★3の評価に向けた改善・見直しの内容の分析が妥当かという内容を追記した。

「第7 質問票の提出」（1）については、行政評価の目的の1つでもある職員の意識改革につなげるとともに、昨年度の答申でもあったように、ヒアリングの時間に制約があることから、ヒアリング時の質問を深めることができ、効率的な内容のあるヒアリングが行えるよう、試行的な取組として、担当課が作成した事前質問の回答を委員の皆さまにお返して、そのうえで、自由に質疑を行えるよう、事務局の提出期限は、概ね10日前までに変更した。

「第8 ヒアリングの出席者及び進行方法等」③質疑応答については、事前質問票の回答を委員の皆さまにお返しすることから、45分から30分程度に変更した。

「第9 評価方法」については、昨年度と同じく、★なしから★3つまでの4段階で評価することとしている。なお、判定区分については、各区分にプラスマイナスをつけることができることとしている。

「第10 委員会の実施スケジュール」については、十分な議論ができるよう、ヒアリングの回数を1回増やして、全7回の委員会の議事等を記載している。本日の委員会で当該案が承認された場合、要領の末尾に施行年月日として本日の日付を追記し

会 議 録

て職員に周知する。

委員長

対象施策を選定した後、どの施策をいつヒアリングするのかについてはいつごろ教えていただけるか。

事務局

本日決定した後、明日各担当課と調整し決まり次第、早急に委員のみなさまに連絡するとともに、質問票の作成を依頼する。

委員長

事務局の説明にあった会議の一部非公開については、昨年度と同じく各施策のヒアリングは公開とし、その後の「判定区分」「判定理由」についての協議は非公開とする。なお、外部評価の結果については、会議録を市民に公開することで考えているが、意見があればお願いしたい。事務局の説明についての質疑はあるか。

委員

スケジュールについて例年非常にタイトとなっており、今年度は事前に回答を求めているが、担当課から何か意見等ないのか。

事務局

特に意見はない。ヒアリングの前に事前に回答を求めることは今年度試行的に行いたい。また、担当課から意見等あれば来年度以降の外部評価委員会に活かしていきたい。

委員長

他に事務局の説明についての質疑はあるか。

(質疑なし)

委員長

では案件3の外部評価実施要領については事務局案のとおりとして、同要領に基づいて委員会を運営していくこととしたい。

4. 外部評価施策の選定

「評価施策の概要説明」

委員長

続いて、案件3の評価対象施策の選定について、市長より42の施策について外部評価を行うように諮問されたが、42の施策全てについて評価することは、限られた時間内では難しく、日程的にも非常に困難だと考える。

本日の委員会では、外部評価を実施する施策を10施策程度に絞り込み、第2回から第6回の委員会でヒアリングを行い、第7回の委員会で評価結果をとりまとめのうえ、市長に答申することとしたい。これについて意見があればお願いします。

(意見なし)

委員長

それでは、事務局より概要の説明をお願いします。

事務局

評価対象候補となる施策について説明。

施策の選定については、資料3の平成29年度 外部評価対象選定方針(案)の対象施策を選定する際の留意事項にあるように、(1)対象施策が特定の分野に偏ることが無いようにすることや、(2)施策の主担当課に偏りが生じないようにすることに留意して、選定をお願いします。

委員長

事務局の説明についての質疑はあるか。

(質疑なし)

(委員の意見交換)

委員長

「305 下水道事業の健全経営」に関して新しい計画に掲げられている目標値を見ても、下水道人口の普及率と接続率をあげていく目標を立てているがどこまでめざ

していくのか。あわせて普及率についてはどのように考えているか。

事務局

下水道事業については今後老朽管が大きな問題となっている。長寿命化計画を立て更新をしていっているところであるが、人的なもの、財政的なもので思ったように進んでいない。財源確保として安定収入を確保するための方策の1つとして接続率の向上を指標として設けている。普及率については、現在普及しているところは高効率のところはほぼ完了しているものの、低効率のところに関しては残っており、そのあたりどうしていくかが課題である。

委員

職員のモチベーションに関わってくるが4年間で外部評価に当たっていない課はどのくらいあるか。

事務局

義務的な性質が強く法定業務が多く、外部からの指摘を受けても反映しづらい施策もあるので生活支援課と保険年金課は外部評価にあたったことがない。

委員

そのような事情があつて外部評価に当たらないということを理解しているかどうか、またフォローしているのか伺いたい。

事務局

外部評価の前に内部評価で各課ヒアリングを行っているが当たる施策当たらない施策でヒアリング内容を変えるとといったことはなく差異なくヒアリングしている。

委員長

それでは委員ごとに選んだ施策について教えていただきたい。

委員

①過去に実施したものか②過去に実施したもので内部評価より外部評価で★を下げているもの③提案ができる施策かどうか、また章ごとに最低1つを選定した。

1章は「103 広報活動の充実」過去に外部評価あつた時に評価が下がっていたため。2章について「202 健康づくりの推進」、「206 介護保険の健全運営・高齢者支援の充実」福祉の分野は重要かと考える。また過去に外部評価あつた時に評価が下がっていたため。他との兼ね合いもあるが2つ選んでもよいかと考える。

会 議 録

3章は全てあたっていないが「306 資源循環型社会の形成」については何らかの提案は可能かと考える。4章両方未実施だが「405 国際交流の推進」についてはできていないことがところがあるのではないかと感じたため。5章は両方とも未実施。「505 雇用・就労支援の充実」こちらも重要だと考えているが内部評価で★をつけているのでその理由を確認したい。6章についてもどちらもされていないがどちらを選んでもよいかと考える。

7章はいずれも大事なので全て選んでも良いと考えるが「703 健全な財政運営」は特に選びたい。

委員

★の数や提案することで方向性を変えることができるのではないかと頭を念頭に置いて選定した。「103 広報活動の充実」、「202 健康づくりの推進」、「305 下水道事業の健全経営」、「405 国際交流の推進」、「407 人権が尊重される社会の形成」、「505 雇用・就労支援の充実」、「604 快適な住環境づくり」、「701 戦略的な行政経営の推進」、「702 人材育成の強化」とした。

委員

①社会性、②経済、③市の特性（市として外せない）を念頭に、各章から1施策選んだ。「103 広報活動の充実」、「202 健康づくりの推進」、「305 下水道事業の健全経営」は耐震絡むため選びたい。「405 国際交流の推進」、「505 雇用・就労支援の充実」、6章も一旦置いておいて、7章は全て選びたい。7章の中で優先順位を付けると、「702 人材育成の強化」、「703 健全な財政運営」となる。残りは一任したい。

委員長

①各章1つ②社会的課題につながるもの③施策規模、事業の中身がありお金もかけてそうなものを念頭に選定した。「103 広報活動の充実」、「206 介護保険の健全運営・高齢者支援の充実」、「308 環境衛生の向上」は空家対策等も含んでいるため。「405 国際交流の推進」、「505 雇用・就労支援の充実」、「602 安全な水辺空間の形成」は、水辺空間と聞くと遊ぶ場所をイメージしがちだが水害等と直結する施策と考えるので市民の目で見ることの大事だと考えた。「703 健全な財政運営」は財政状況が急速に悪くなっているということについて委員任期中で総括しなければならぬと考えた。「701 戦略的な行政経営の推進」については内部評価が★のためヒアリングで確認したいと考える。4人で一致した施策については対象とする。

会 議 録

委員

6章については水害と絡め「602 安全な水辺空間の形成」を選定しても良いかと考える。

委員長

私が選んでおらず他の委員が選んでいるのは「202 健康づくりの推進」と「702 人材育成の強化」である。どちらも市にとって大切な施策だと考えるので選んでよいと考える。702は自己評価が低いということもあるので選定してヒアリングで詳細を確認したい。

3章と6章は1つもまだないが「305 下水道事業の健全経営」も重要な事業だと考えている。6章はどちらも選んでも良いと考える。

委員

過去に外部評価に当たったことがあるか。

事務局

両方当たっている。「604 快適な住環境づくり」は住居表示や防火・準防火地域の指定検討や立地適正化計画があり、事業は実施しているが計画策定中のものが多い。

「602 安全な水辺空間の形成」はため池の耐震、河川管理の話がある。

委員

経常収支比率も悪くそれに合わせた評価をしないといけないと考えるので「703 健全な財政運営」を選んではどうかと考える。

委員

外部評価委員会の総括として「701 戦略的な行政経営の推進」を選んではどうか。

委員

「304 安全安心な水道水の供給」と「306 資源循環型社会の形成」ならどちらの事業が判断しやすいか。また外部評価委員会に当たっていない課を当ててはどうか。

委員長

結果は「304 安全安心な水道水の供給」の方が分かりやすいと思うが、提案のしやすさでいうと「306 資源循環型社会の形成」ではないか。

会 議 録

ごみ問題は日々の生活に直結するため「306 資源循環型社会の形成」を選定してよいのではないかと。

(選定施策確定)

委員長

それでは、10施策については、

- 「103 広報活動の充実」
- 「202 健康づくりの推進」
- 「305 下水道事業の健全経営」
- 「306 資源循環型社会の形成」
- 「405 国際交流の推進」
- 「505 雇用・就労支援の充実」
- 「602 安全な水辺空間の形成」
- 「701 戦略的な行政経営の推進」
- 「702 人材育成の強化」
- 「703 健全な財政運営」とする。

事務局

「703 健全な財政運営」については出納閉鎖終わってから数値が出るためヒアリングするまでにシートを差し替えたい。

「質問票について」

事務局

事前質問票について説明。

様式については、昨年度と変更はない。事前質問票を事務局に提出したのちに気付いた事項は、ヒアリングにてご質問いただきたい。

今回より、担当課の回答を委員各位にお返しするため、質問票の提出については、ヒアリングを行う10日前までとさせていただきます。

先程決まりました選定施策については、関係部課と調整のうえヒアリングの日程を6月5日(月)ごろに通知させていただきたいと考えている。第2回の評価委員会が、6月16日(金)であることから、第2回評価委員会のヒアリングの質問票については、6月7日(水)までに事務局に提出をお願いしたい。ヒアリング毎の事前質問票

の提出期限は、参考資料1に掲載しているとおりに。提出方法については、郵送、メール等で、事務局までお願いしたい。

5. その他

委員長

続いて、案件5の「その他」であるが、事務局から何かあるか。

○「施策シートの見方について」（資料5）

事務局

資料5 施策シートの見方に基づき説明。

施策シートについては、以前のシートがPDCAサイクルのC（Check）の部分までしか記入されていないことから、A（Action）の部分を追記して、シートのレイアウトを見直している。

シートの構成としては、①施策概要は変更ありません。②計画（Plan）には、平成28年度の計画を記載しています。③実行（Do）では、施策の成果指標の目標と実績を、④指標の分析では、成果指標の進捗状況として前年度からの増減理由などを、⑤施策の達成状況では、施策のめざす姿や総合計画に記載されている市役所の役割に対して、できたこと、できなかったことを記入している。

（2／4ページ目）

⑥内部評価（Check）では、先ほどの、④指標の分析と⑤施策の達成状況を踏まえ、施策の状況が、施策のめざす姿にどの程度実現されているかを、「★3つ：施策のめざす姿が実現している」、「★2つ：施策のめざす姿に近づいている」、「★1つ：施策のめざす姿にやや近づいている」、「★なし：施策のめざす姿に近づいていない」の4つの区分で評価し、判定した理由を記載している。

⑨改善・見直し（Action）については、昨年度の答申を踏まえ、新たに追加した項目であり、先ほどの内部評価を踏まえ、平成29年度からの改善・見直しできるものも含めて、今後の展開方針を記載している。

とくに見ていただきたいところは、④指標の分析と⑤施策の達成状況、⑥内部評価結果、⑨改善・見直しである。

⑦外部評価という欄では、次回以降、皆さまに評価いただいた評価結果をこちらに記載する。⑧総合評価については、内部評価、総合評価を踏まえ、市としての最終評

価をここに記載する。

次に、⑩実施計画では、参考情報として、行政経営計画に記載されている、平成29年度の施策の取組方針を記載している。また、⑪実施計画では、平成30年度の取組方針については、今回の、評価を踏まえて、評価終了後に、記載するため空欄となっている。

(3/4ページ目)

⑫施策を構成する事務事業の欄は、後ほど説明する「事務事業シート」からの転記となっている部分である。左から順に、事務事業の番号、事務事業の名称、事務事業の担当課、施策に寄与する割合、事務事業の概要、平成27年度の目標の達成状況を記載している。なお、平成30年度の取組方針については、先ほど説明した、施策と同様、施策の評価を踏まえ、評価終了後に記載するため空欄となっている。

参考として、資料の下に、⑬平成29年度以降に実施する事務事業の情報を記載している。なお、平成28年度に事業を実施していないため、目標の達成状況はありません。あくまでも参考ということで評価の対象外となる。

(4/4ページ目)

⑭コストでは、こちらも先ほどと同じく、事務事業シートからの転記になる。左から順に、事務事業の番号、事務事業の名称、事業費、人件費が記載されている。平成27年度については、決算、平成28年度の決算見込み、平成29年度の予算の数字を記載している。平成30年度については、評価終了後に記載するため空欄となっている。

○「施策シートの見方について」

事務局

事務事業シートについても、施策シートと同じくPDCAサイクルのC(Check)の部分までしか記入されていないことから、A(Action)の部分を追記して、シートのレイアウトを見直している。

⑯基本情報及び⑰事業情報については、時点修正を、⑱計画(Plan)には、平成28年度の取組方針を記載している。

⑲活動指標・成果指標については、指標の目標と実績を記入しており、平成28年度の欄には、決算見込みを、平成29年度は、今年度の予定を記載している。平成30年度については、評価終了後に記載するため空欄となっている。

次に、資料の2/2 ⑳と㉑実行(Do)では、各年度の事業の内容と事業費を、

各平成27年度の決算、平成28年度の決算見込、平成29年度の予算の状況で整理している。

⑳と㉑評価（Check）では、左から、平成28年度の実行方針に対する達成状況として、「A：達成できた」、「B：概ね達成できた」、「C：達成できなかった」の3つの区分で評価している。また、併せて、その理由を記載している。また、右には、評価で得られた課題や問題点を記載している。

㉒改善・見直し（Action）では、施策と同じく、今回から追加した項目で、評価を踏まえ、平成29年度からの改善・見直しできるものも含めて、今後の展開方針を記載している。

委員各位には、施策評価を行う上で、施策にぶらさがり、各事務事業の達成状況や課題や問題点、今後の展開方針などを参考にしていただけたいと考える。

資料の下、㉓実施計画では、参考情報として、行政経営計画に記載されている、平成29年度の実行方針を記載している。

また、平成30年度の実行方針については、今回の、評価を踏まえて、評価終了後に、記載するため空欄としている。

○「評価の実施方法（案）（平成29年度 外部評価委員会資料）について」（資料6）

事務局

資料6に基づき説明。

シートを一部見直したことに伴い、評価の実施方法も一部見直しを行った。変更した箇所については、下線を引いているのでご確認いただきたい。

まず、1. 外部評価を行う上での留意事項、こちらでは、外部評価の目的などを記載している。対象について、「施策シート」に記載している「指標の分析」「施策の達成状況」、「内部評価結果」に加え、シートの見直しにより、「改善・見直し」の項目を追加している。

(4) 備考にもあるように、総合計画の実効性を高めるためであれば、外部評価の結果を踏まえて総合計画及び行政評価制度について、意見・提言することは可能となっていますので、委員の皆さまにおいては、昨年と同様、これまでのキャリアなどを踏まえ、様々な視点からご提言等をいただけたらと考えている。

次に、2. 「施策シート」の検証順序、3. 「施策シート」の検証方法、こちらは、施策シートを検証する際にチェックしていただくべき事項を整理している。こちらも同じく、シートの見直しにより、一部修正をしている。

検証の順序としては、「指標の分析」⇒「施策の達成状況」⇒「内部評価結果」⇒「改善・見直し」というように検証していただく。

会 議 録

施策シートの検証方法として、(1)「指標の分析」については、①から③に加え、④指標の進捗状況（前年度からの増減理由など）が適切かどうか。(2)「施策の達成状況」については、①施策の達成状況（できたこと）、（できなかったこと）が把握できているかどうか。(3)「内部評価結果」については、①「指標の分析」と「施策の達成状況」に基づき、施策の現状を適正に評価できているか。また、②施策に掲げる「市役所の役割」を果たしているか。(4)「改善・見直し」については、①★3に向けた改善・見直し内容（今後の展開の方向性）が妥当かどうかを検証いただく。

シートをチェックするにあたり、さらに詳しい説明が必要と感じられた事項、別途資料の提出が必要な場合については、事前質問票に記載していただき、事前質問票を事務局に提出したのちに気付いた事項は、ヒアリングにてご質問をお願いしたい。

次に、4.「判定理由」の記載事項及び記載内容については、こちらも同じく、シートの見直しにより、一部見直している。(2)記載内容については、施策の所管部局などが平成28年度、実施してきたことに対する過去への評価として、①から③と、提案や提言、指摘事項などのこれからのこと、未来への評価として、④と⑤の、大きく2つに分けられる。過去への評価に加えて、委員の皆さまから提案や提言、指摘事項などをいただくことで、来年度の施策の見直しに向け、各担当課の取組を促進することができるものと考えている。

最後に、昨年度と同じく、本日、「評価の実施方法（案）」として、ご提案させていただいているが今日の時点で当資料の可否を決定していただくのは困難と考えている。については、ヒアリングを実施する第2回から第6回の委員会では、当案を参考資料として活用いただき、ヒアリングの結果を踏まえ、評価のとりまとめを行う第7回の委員会の冒頭にて、当資料の可否を決定していただきたいと考える。

事務局

「次回第2回外部評価委員会は、6月16日（金曜日）18時30分より市役所別棟2階第3会議室で行う。

委員長

以上で本日の案件は全て終了した。

これをもって、第1回阪南市外部評価委員会を閉会する。

(閉会)